天　天

141mm A

dance of shiva

Date　：2012 年 5 月 18 日 -21 日 (18 日 18:00 Gate Open)
Venue：西伊豆　オートキャンプ銀河
Web　：http://www.tirakita.com/event
TICKET 前売のみ :15000 円 [500 peoples limited]
（日食メガネ付き）

「Travel of mind effect music - 精神を動かす音楽の旅」

1960 年代。ヒッピーたちが憧れ、マジックバスで目指した世界。物質が支配する西洋にはない精神世界を求めて人々は旅立った。ヒッピーたちがそこで見たものは、ヨガやヒンドゥー教、仏教をはじめとする精神世界。そして独特の響きを持った音楽だった。

今年で 6 回目になる DANCE OF SHIVA。今回は日食にタイミングを合わせ、3 年間の準備期間を経ての開催となる。DANCE OF SHIVA にふさわしいアーティストを内外から招聘し、世界トップクラスの音、考え抜かれたタイムテーブルを基に、最高の瞬間を出現させる事だけに集中した。

「一生に一度しか来ない瞬間を最高の仲間と迎えたい」
それが今年のキーワードだ

スオミの国、フィンランドからは Mandalavandals と、Salakavala、Calamar Audio、IGOR SWAMP、VISHNUDATA。ロシアからは HIPPE KILLER PRODUCTION の JARO。インドから Arif Khan が来日。そして日本国内からも数多くのアーティストが参加してくれることとなった。

心を揺らす音、この世の物でない音を、世界最高のスピーカーで味わう快楽。
音楽のジャンルや、音の種類や、そんな物が意味なく思える瞬間。
ただ、音の気持ちよさに身を任せ、目をつぶる。
踊りつづけて、人生の意味を発見する。
来た人みんなと笑いあえる。
最終日の朝の特別な瞬間をみんなで体感する

このイベントに参加する人々は倍音、インド音楽、そして民族音楽から影響を受けた電子音楽を、その発生から現在形に至るまで 3 泊 4 日と言う長い時間を通し、楽しんでいくことになる。最後に、言うまでもないことだが、Dance of shiva では、最高の音と、最高の時間を提供し。そして時間、音、体験の旅を提供したい。

live artists

ACID MOTHERS TEMPLE & THE MELTING PARAISO U.F.O.
90 年代半ばより海外を中心に活動。各国のレーベルより膨大な数の作品をリリース。サイケデリック・オリジネーターの Gong、Guru Guru、Trad Gras och Stener、Silver Apples、NikTurner(ex.Hawk Wind)、タモ鈴木 (ex.Can) 等とも合体共演。全世界の数多くのミュージシャンに多大な影響を与え続ける 21 世紀のサイケデリック・グループ。www.acidmothers.com

VISHNUDATA
光の速さより一瞬で、愛が満ち溢れた音の世界に導いてくれるスペースシップ。90 年代から音楽活動をはじめ、Exogenic Musiegroup, Fabula Records, Psy-Harmonics, Space Boogie, Elixiria、そして香川に拠点を置く Nullzone などから数々のアルバムやミックスをリリース。現在も、精力的に世界を廻り、数多くのパフォーマンスをしている。2012 年には新アルバム "I am Nature" をリリース予定。

amamania
95 年 NY で結成。潜在意識の中にある『記憶の音』を引き出し、空間的でプリミティブな「音の場」をつくりだす。幸にライブにおいては内から湧き出る自然な音に身をまかせ、宇宙との一体感を表現。07 年より、ダンサーとのコラボや楽曲の提供をきっかけに、エレクトロニクス・サウンドを強くけち出したリベル・フュージョン的な色合いを強化。Shamian Hideko (vo,pere) Aki (syn,gt) Kyoko Oikawa (vl)

no.9 orchestra (liquid note records)
音と共に暮らす、詩的でメロディアスな作曲家として 6 作品をリリースしている no.9 こと Joe Takayuki。彼が率いるバンドセット [no.9 orchestra] は、壮大で圧倒的なサウンドと、アルバムとはまたさらに違ったアレンジによる濃厚な世界観と情熱を、身をもって感じる貴重な機会であると同時に、音楽への愛情を伝えようとする彼の姿勢、それに応えるメンバーの想いが、演奏に直に伝わる『温度の在る音楽』として高い評価を得ている。毎年 DJ として参加している Dance of shiba に、ついにフルバンドセットとしてライブで参加！

Calamar Audio (Antiscarp Records)
フィンランドをベースに活躍するアンティスカープ・レコードの総帥 Ville Ruoho のソロプロジェクト Calamar Audio。2007 年に自身のレーベルから Tentacle Tubue をリリースしたのに続き、2009 年末に Squid Fluid をリリース。その曲がった多彩な音は、本国フィンランドのみならず、日本にも数多くのフリークが居ることで知られる。
website: www.Calamar-Audio.tk

南澤　靖浩 (シタール、スールバハール)
1986 年より、ベナレスにて、スラワニ・ビスワス博士に師事。日本やインドで演奏活動を展開。2006 年ベナレスにて、打楽器タブラの巨匠アシュー・パンデーのメモリアルコンサートに出演。現地の新聞各紙で好評をうけた。1992 年頃より大型の弦楽器スールバハールを手がける。トライバルユニット・天空オーケストラのメンバーとして、イギリスのグラストンバリーフェスティバルやフジロック、Rainbow2000 等、多数出演。

DJ Jaro(Hippie Killer Productions)
ロシアからスオミサウンドをリリースし続ける Hippie Killer Productions のレーベル DJ& プロデューサー DJ Jaro。幼少の頃よりパンクロックミュージックに影響を受け、1990 年代に GOA トランスに傾倒。GOA を聞き続ける中で、最終的に SUOMI トランスに行き着く。ロシアよりスオミサウンドを発信するべく、2005 年にレーベルを設立。来日の度にその優しいキャラクターと曲がったサウンドでファンを増やしている

OVERHEADS＋3rdEYE Japan=D.V.D.

IGOR SWAMP (Antiscarp Records)
Toni Sorsa のソロプロジェクト Igor Swamp。2003 年にプロジェクトをはじめ、ダークな森系サウンドを得意としている。フィンランドの Antiscarp レコードよりデビューアルバム、Metsa Vastaa、Kuuleeko Suomi をリリース。Salakavala や Nano Buds、Antiscarp Warriors の一員としても活躍中
http://www.antiscarp.com/artistpage_igor_swamp.html

宮下　節雄 (サントゥール)
1992 年よりインド人間国宝の PT. シブ・クマール・シャルマ氏に師事。国内・インド での TV・ラジオ出演多数。「天空の音雫」はじめ CD リリース多数。2008 年 3 月ヴァラナシでのバイシュ・パープラ サンギート・サマロハ音楽祭にて、インド古典音楽への貢献を讃えられ受賞。ザキール・フセインの高弟タイ・パーボ、ジーナ・サラ他世界的一流アーティストとの共演も多数。岐阜を拠点に日本・インドで精力的に演奏活動を行い「インド古典音楽＆舞踊センター・沙羅双樹」にて後進の指導を行う。

DJ Ahimsa
8 年間に渡り、8 つの国の色々な都市で DJ をしてきた経験を持つ DJ AHIMSA。インド人の血を持つ生い立ちがそのまま彼の音楽性に反映されている。エレクトロ・テックハウスからエスニックでディープ、宙を飛んでいるようなフュージョンまでを守備範囲とする。最近は東京の多くのパーダンスイベントで DJ をする他、ニューヨーク、サンフランシスコ、シアトルのアーティストにも多くのリミックスを提供している。今回の DANCE OF SHIVA では初日の夜中にインド系アンビエントセットを披露して貰う予定だ。

祝詞
あるパーティで見た VJ に衝撃を受け、自らもその感動を創り出すために 2003 年より VJ 活動を始める。Drum'n'Bass、Techno などを経て現在は Psychedelic Trance、主に Dark Psy での VJ を中心に活動している。近年、VJ としての可能性を広げるため、音と映像の同期 " 以外 " の空間表現方法を探究中。

Jai Bajrang(ジャイ・バジャラング)
歌う太鼓！！踊る心！！カネコテツヤと久野隆昭による、「リズムを歌う」太鼓デュオ。20 本の指と 2 本の舌で操るのは、2 つのインド打楽器：パカワジ（北インドの両面太鼓）&ガタム（南インドの壺）と、インドのリズム言葉：ボル &コンナッコール。リズムを突き詰めていったら、こんな音楽になりました。メンバーの 2 人それぞれが、[インド] ドゥルパドメーラにて各賞受賞、[日本] フジロックに出演、など日本国内外で活動中。

寺原太郎 (バーンスリー)
中川 博志、ハリプラサード・チョウラシア、アミット・ロイに師事。2006-2007、2007-2008 と 2 年連続でオーストラリア最大の音楽フェスティバル Woodford Folk Festival に出演。2008 年インドで開催された「アラウッディーン・カーン音楽祭」に出演。外国人演奏者としては初の出演。インド古典音楽の深い理解に基づく叙情的かつダイナミックな演奏で、各方面より高い評価を受けている。2011 映画「ブッダ」の劇中音楽を担当。http://www.pure.ne.jp/~fueya/

NOISE(AghartA / HEAVENS DOOR)
国内アンダーグラウンドシーンに着実な根を張り、独特の支持層に支えられる進化形の祭 "HEAVENS DOOR" のオーガナイザーにして本だてかつてのあのカオスを撒き散らしていた時代の音楽 GOA TRANCE を追い求める祭 "AaghartA" の司令官の一人。
『デザイナー』、『DJ』、『PLANNER』、その様々な切口は、全て『NOISE』という言葉の裏に潜む真実に繋がって行く。
http://www.kluv-depth.com/
http://www.kluv-depth.com/agharta/

VJ WANBON (Ph.D)
驚いても、ビックリしても、やられちゃっても、慌てないコトは、巨大な疑問符が雲の上から頭を覗かしたらニッコリ笑って「どうも！」って握手するコトであって、雲の上（まだ上の次元）があるというコトを認識するコトでもある。遊牧民と交わる旅人が出逢うコトが新しい価値観であり、新しい刺激を求めるコトこそが、1 日の中にコンフォタブルな時間を多く持つコトでもあり、多くのアイディアをアウトプットできるコトにも繋がる。

JUNXPUNX
JUNXPUNX は己の細胞に制御不能なプログラムを input し、常に核を膨張させ続けている日本の psychie shaman である。2008 年よりオリジナルトラック製作を始め、場所やジャンルを問わず多くの儀式を行ない、より deep な覚醒音を追求してきた。これまでにない全く新しい独創的な覚醒音と爆発的な trip 感覚で聴く者の意識を極限まで覚醒させるライブは psy trance scene で異彩を放っている。 ahoa gil も JUNXPUNX の楽曲をヘビープレイしていることからもその覚醒 力は証明されている。http://soundcloud.com/junxpunx

立岩　潤三 (タブラ)
ダルブカを S.Pampanin ／ S.RAGTIR に、タブラ吉見征樹／ P.Athalye に師事。G.Velez から F.Drum のレッスンを受ける。インド、アラブ、トルコ、イランの古典音楽から Rock/Pops にとどまらず、各種ダンスとのコラボレーション、作曲など幅広く活動を展開中。
http://members.jcom.home.ne.jp/tanc/

seiji animaminimal (Global Dat Mafia/ 蟲の響 / 昇天)
2002 年前後より活動を開始し『蟲の響』に参加。その後『Global Dat Mafia』にて主にフリースタイルな異形のサウンドでその名が知られ始める。彼のサウンドは、あまりにも多岐に渡るためひと言のジャンルでは到底説明が不可能だが、60 年代から脈々と受け継がれる『裏サイケ！』のセンスなのかもしれない。フロアに描かれる言霊曼荼羅に脳髄をジャックされたフリークスが全国各地で大絶賛増殖中！

Momo
音楽大学在学中に心身の不調改善、演奏の為の身体作りの一環としてヨガをはじめる。リシケシュで、ヨガをライフワークとする事を決意。アシュタンガヨガをケンハラクマに師事。07 年以降は定期的に渡印し、マイソールの AYRI にて故 P.Jois と Sarath.R の下で研鑽を積み、同時にマントラチャンティング、サンスクリット語、インド音楽などを幅広く学ぶ。日本人では数少ないアシュタンガヨガの正式指導資格を取得。現在、インターナショナルヨガセンターを中心に都内近郊でヨガを伝える傍ら、ヨガフェスタや地方でのワークショップにも積極的に赴きヨガの普及に努める。

MAKYO
プロデューサー・DJ・リミクサー GIO によるライブ・プロジェクト。インドのサントゥールやタブラ、トルコのサズやダルブッカなど様々な民族楽器とエレクトロニクスのビーツ＆ベース＆dub エフェクトを Mix したボーダーレスな音世界を構築する。一度として同じではない即興的／シャム的要素を内包した…モダンでミスティカルかつトランシーなサウンド。春に新アルバム "Purnima" をリリース予定。

池田　絢子 (タブラ)
タブラを U-zhaan、Pt.Anindo Chatterjee、Anubrata Chatterujee に師事。毎年冬はカルカッタに滞在し、タブラ修行に励む。北インド古典音楽・舞踊コンサートや、Tabla だらけバンド『Tabla Dha』、シタール奏者・ヨシダダイキチのユニット『AlayaVijana』、シンガーソングライター・minakumari のライブサポートなどなどで演奏活動中。
twitter：http://twitter.com/#!/ayako0109
blog：http://blog.goo.ne.jp/ayako0109

sho(PERVERTTI/VOUGA)
2002 年より GOA TRANCE PARTY「忘我（VOUGA)」、2005 年より UNDERGROUND PARTY「PERVERTTI」など仕掛ける。ダンスからチルアウト、フリースタイルまでジャンルは様々。DANCE OF SHIVA には今回で 4 度目の出演。アンダーグラウンドであることに拘りを持ち、自分自身が面白いと感じる事がパーティーメイキングをしていく上で大切である！ことが持論。日々楽しいこと、面白いことを追い求めている。

kanoyaproject
アートディレクター・空間デザイナー・デコレーター池 新一郎と、愉快な仲間たちによるアートチーム。コンサートやライブイベントから、店舗装飾やディスプレイ等、様々な空間の演出や装飾を手掛け、その活動は多岐にわたる。常に新しい試みや多種多彩な表現・表現を提案し、新たな感動と驚きの空間を創造しようと日々邁進中。

Mandalavandalz
日本のスオミフリークスから熱狂的な支持を受けるスオミ界の最重要アーティスト Mandalavandals が再来日！前回同様、フロアを曲げ、歓喜と狂気の世界へと突入してくれる乞う。2008 年の "King of the Bad Trips"、2011 年の "SENSEI SHARAKU" は 6D SOUNDZ よりのリリース

天水バンド
天水 music のコンセプト＝ 原初＋前衛 / 流派外。CD、DVD リリース多数。2007 年 8 月 皆既月食ライブ at 尼窪神社。2011 年 9 月 CD「Rainwater」がインドのアカデミー賞「GiMA Awards」フュージョン部門にノミネート。新作 CD「Return To Zero」を Worldwide Records in Mumbai India とリリース契約。
Official web=http://www.tensui-web.net/
Facebook 検索 =Tensui Dotmusic

sinX (6D-SOUNDZ/ 転輪)
2001 年からダンス＆チルアウト DJ、オーガナイズ活動を開始。2007 年に自身の「転輪祭 Final」を終えた後、3 年半 DJ として世界を放浪。豪州、アジア、インド、欧州各地でプレイを重ねた。帰国後、2011 年の奥原人村の満月祭に携わると共に京都で震災支援パーティ「Tranquility Base」を立ち上げる。

雪月華
2003 年よりレイヴ／野外フェス／クラブイベントを中心に活動するデコレーター。布を用いた造形を表現手法として、近年ではパーティー・デコレーションに限らず多岐に渡り活動を展開。驚きのあるモノ・コトの創造をテーマに、仕掛けや突発的なアクションをパーティーに持ち込むなど新たな試みをしている。

SALAKAVALA (Antiscarp Records)
Tommy Lauhiala, Toni Sorsa and Ville Ruoho の 3 人によるプロジェクトが SALAKAVALA だ。ダンスフロアを強烈に沸かせるサウンドは定評があり、世界中の多くのオーガナイザーから何回も重ねてブッキングされているほどだ。SALAKAVALA は「予想できないもの」と言う意味で、6D Soundz や Antiscarp ほか数レーベルからアルバムをリリース。現在、新アルバムを準備中。

ARIF KHAN (タブラ)
11 世の楽聖ミール・アカシャに遡るという伝統の血。曾祖父のマシット・カーン、祖父のカラマトゥラー・カーン、そして父のサビール・カーンの名を引き継ぐ、タブラの天才奏者アリフ・カーンがコルカタから来る。ファルカバードガラナの伝統の名に恥じぬ素晴らしいタブラの技量は、インドの中で数多く居るタブラ奏者の中でも屈指である。

Munehide Ida
LABYRINTH、Anoyo、渚をはじめ様々なイベントを撮り続けているカメラマン。各種イベント及びそれを取り巻く世界の素晴らしさを伝えつつ、記録写真を「アート」の領域にまで高めようと努力を続けている。

kousei_skmt
努めてアンダーグラウンドシーンにこだわり、限りなくフロアの温度を残した一瞬をテーマに各地の party・祭りを収め続ける。主な活動拠点は natural smile・HEAVENSDOOR・GLOBALDATMAFIA・原点回帰など。

disk hunters

Gio Makyo (DAKINI RECORDS)
インディアン＆アラビック・クラブ・ミュージックやアンビエントの分野に影響を与えてきた DJ＆音楽プロデューサー。Natacha Atlas、Kaya Project、Cheb-i-Sabbah のリミックスも手がけ、アルバム 6 枚もリリース。'99 年より、自身のレーベル DAKINI RECORDS にて世界中のエスノ・フュージョンやトライバル系作品を 21 枚リリース。東京のエキゾチック・アンビエント・パーティー "DAKINI NIGHTS" ではレギュラー DJ 兼オーガナイズを務めていて、海外フェスの DJ も多い。http://www.dakinirecords.com/

ヌリッティヤ・ラクシャナ・ジャパン (バラタナティヤム)
南インド古典舞踊バラタナティヤムを踊るグループ。代表の山元彩子は 1997 年よりインド・チェンナイにて A.Lakshman に師事。インド及び日本にて精力的に公演を展開する。Dance of Shiva には山元彩子・岸美和・堀友紀子が出演。踊りの神シヴァ神に捧げ、華やかなステージを繰り広げる。
http://www.lakshana-japan.com/

DJ Whiskey Baba (Antiscarp Records)
インドのゴアで耳毛を持つ特別な男に授けられた聖なる名前 Whiskey Baba。Whiskey Baba は Antiscarp レコードの総帥 Ville Ruoho の DJ ネームだ。フリーキーなナイトタイムでのプレイを得意としながらも、曲がった朝方のグルーヴも評価が高い。Salakavala の一員でもあり、ライブユニット Calamar Audio としても知られる。
website: www.Antiscarp.com

前田あつこ＆Kadamb Japan (北インド古典カタック舞踊)
ヒンドゥーとムガルの雰囲気をあわせを持つ、流線の美しいカタック舞踊。その優美さや煩雑なテクニック魅了されカタック独特のグレイスの虜。6 歳よりカタックを踊り、'06 年より PB クムディニ・ラキアに師事。毎年インドで稽古をする一方 KADAMB 舞踊団の公演など舞台出演を重ねる。渋谷、代々木、表参道でクラスを展開する他カダムジャパンを主宰。
http://www.atsukathak.com

DJ Ahimsa
8 年間に渡り、8 つの国の色々な都市で DJ をしてきた経験を持つ DJ AHIMSA。インド人の血を持つ生い立ちがそのまま彼の音楽性に反映されている。エレクトロ・テックハウスからエスニックでディープ、宙を飛んでいるようなフュージョンまでを守備範囲とする。最近は東京の多くのパーダンスイベントで DJ をする他、ニューヨーク、サンフランシスコ、シアトルのアーティストにも多くのリミックスを提供している。今回の DANCE OF SHIVA では初日の夜中にインド系アンビエントセットを披露して貰う予定だ。

祝詞
あるパーティで見た VJ に衝撃を受け、自らもその感動を創り出すために 2003 年より VJ 活動を始める。Drum'n'Bass、Techno などを経て現在は Psychedelic Trance、主に Dark Psy での VJ を中心に活動している。近年、VJ としての可能性を広げるため、音と映像の同期 " 以外 " の空間表現方法を探究中。

VJ WANBON (Ph.D)
驚いても、ビックリしても、やられちゃっても、慌てないコトは、巨大な疑問符が雲の上から頭を覗かしたらニッコリ笑って「どうも！」って握手するコトであって、雲の上（まだ上の次元）があるというコトを認識するコトでもある。遊牧民と交わる旅人が出逢うコトが新しい価値観であり、新しい刺激を求めるコトこそが、1 日の中にコンフォタブルな時間を多く持つコトでもあり、多くのアイディアをアウトプットできるコトにも繋がる。

久野　隆昭 (ガタム)
南インド・チェンナイにて、V.Suresh 氏に師事。2006 年ドゥルパド・メーラ（インド）にてアワード受賞。2007 年ティヤガラージャ・アーラーダナ（インド）出演。2009 年アジ・ロックフェスティバル（日本）出演。2012 年ミュージックアカデミー（インド）出演。日本唯一のガタム奏者として全国各地で活動、年間約 100 本のライブをこなす。NHK、各民放及びインド国内のテレビ・ラジオ出演、新聞等への掲載も多数。http://ghatam.exblog.jp/

佐藤　幸恵 (オディッシー)
Odissi Dance Class Sampatti 主宰。女性の官能美、デボーション、浄化を得意とする。OdissiDance を通して多くの学びや気付きを頂く。全てのエネルギーとの調和と統一と悟りを人生のテーマとし、日々 修練を積む。OdissiDance の普及活動と後進の育成に積極的に取り組む。ソロ、グループでのパフォーマンス多数。様々なジャンルのアーティストと共演。

パルーンマンキーボー
1990 年代 ストリートパフォーマンスに感化され、修行する。井の頭公園や山下公園、幼稚園、クラブイベントなどで修行する旅人パフォーマー

AGEYA MITSU
伝説のパーティ Global Dat Mafia で生まれた、フロアを阿鼻叫喚の絶頂へと引きアゲる存在、それがAGEYA だ。その初代にして漢の中の漢、MITSU はキラースマイルを誇え、日食を青白ってこの日所ひ降臨を果たす。

pppppinkman
1982 年 11 月 22 日誕生。国内外、ジャンルを問わず様々なパーティ、イベント等でのライブペインティングや展示会、コラボレーション、DJ 等、自由に表現している。
http://pppppinkman.com

まみーた
音。人。自然。空気。笑顔。それらを肌で感じ、光る線を紡ぐ。
ライブペイント以外にもパティックやTシャツ作成も行なっている。いつも一緒にいる象さんの名前は「岬谷照象」

YUKI TANIGUCHI(古典声楽)
ヨガ、マントラ、キルタン、インド古典音楽との出会いを通じて、音の力に興味をもつようになる。インドのリシケシでマントラヨガ、ヴァラナシで北インド古典声楽ドゥルパドを Pt. Ritwik Sanyal に師事。また、同地でサンスクリット語を学ぶ。現在はインド、日本、オーストラリアを拠点に活動。ヨガやマントラのワークショップ、コンサートを開催している。

Aeravi Link
2007 年に来日。数多くの音楽イベントでライブペインティングを行う。流れる線に音を乗せ、あふれる感情を色に乗せる。夢、恐れ、満足、魅力、混乱、絶頂など多くの意識が詰め込まれ、自由な視点で鑑賞できる

dancers vjs and more

-Official Bar-
Bartender マルキ

-PA-
Air Lab

-Lighting-
ひかりあそび
Laser Jun

-Stage Setting-
Fumi

-Bus Tour-
Seigo's Magic Bus

-Video Shooting-
光学姉妹

-Speaker-
TW AUDiO - Line array

-Live Art& Work Shop-
さやにょろ～♪ & 鳥ちゃん
（株）けんたむ庵

[参加についてのご注意]

今回は金曜日の夕方から月曜日の昼まで 3 泊 4 日の開催となります。始まりは金曜の夜中や土曜日の朝にゆっくり来て頂いても大丈夫なようにタイムテーブルを作成してありますが、日曜日に帰るとイベントを十分楽しめないどころか、大切な瞬間に立ち会う事も出来ません。必ず月曜日の休みを取ってのご参加をお願いいたします。

[チケットについて]

チケットは前売りのみです。当日販売は行いません。ティラキタの Web にてお買い求め下さい。なお日食メガネは当日お渡しさせていただきます

http://www.tirakita.com/event

チケットは以下の店舗でもお買い求め頂けます
旅の雑貨　Maharita　神奈川県逗子市逗子 7-13-10
http://blog.maharita.jp/　050-1535-5775
クワイエットルーム　東京都港区白金 6 丁目 6-1 マンション芝白金 2F
03-6277-1373

[フリーマーケットについて]

物販、飲食ともに出店者を募集しております。お問い合わせはティラキタまで (nandemo_okotae@tirakita.com 046-875-3668 平日 9:30 ～ 18:30・土日祝は休み) まで

携帯でもチケットが購入できます

TIRAKITA

オートキャンプ銀河

静岡県賀茂郡西伊豆町一色八の段１９８６－１
http://www.ac-ginga.com/index.html

★お問い合わせはティラキタ (046-875-3668) まで なお、現地は携帯があまり通じませんので、前日当日の対応は出来ません★ 現地はキャンプ場です。バンガローなどはありませんのでテントのご用意をお願い致します ★ 駐車スペースの関係上、車での再入出場が出来なくなる事もありますので、きちんと準備の上、お越しください★ ゴミは分別して各自お持ち帰りください★ キャンプ場の電源は使用できません★この野外フェスは雨天決行です。天災等での開催中止の場合、チケットの払い戻しはできません★ 事故、紛失等の責任は主催者側は一切負いません。あらかじめご了承ください ★ リストバンドは必ず手首にお付けください。紛失された場合の再発行はできません★ 出演者のキャンセル、変更に対しての払い戻しは行いません。★ 近隣住民の方に迷惑となる行為は絶対禁止です。生じたトラブルに関して主催者は責任を負いかねます ★一度購入されたチケットの払い戻しは出来ません★イベントでのマナーを守れない方、迷惑になる行為をされている方は退場して頂く場合がございます

138mm（内側に折り込む面）C

141mm B

地　地